Face

a n d

Abstraction

高橋 コレクション



کے

抽



清春白樺美術館コレクションとともに

2018年3月18日[日]-5月6日[日]

|開館時間|10:00-17:00[入館は16:30まで]

|休館日 | 月曜 [但し、祝日の場合は翌平日]

| 入村料 | 一般 1500円[1400] | 大·高校生 1000円[900]

小・中学生入館無料 | •[]内は20名以上の団体料金 | •清春白樺美術館、光の美術館入館料を含む

清春芸術村

Kiyoharu Art Colony

清春白樺美術館 光の美術館 梅原龍三郎アトリエ 山梨県北杜市長坂町中丸2072 2072 Nakamaru, Nagasaka-cho Hokuto-shi, Yamanashi Tel: 0551-32-4865

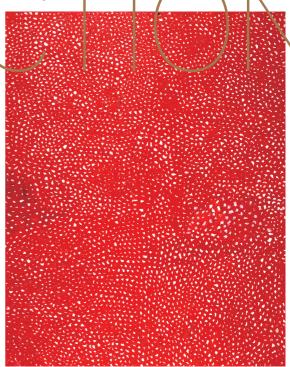
主催——公益財団法人 清春白樺美術館

TAKAHASHI













FACE AND ABSTRACTION

会田誠 高橋大輔 青山梧 橋爪彩 赤塚祐二 鷲見麿 淺井裕介 田口和奈 荒木経惟 辰野登恵子 有島生馬 戸田沙也加 衣川明子 富田直樹 伊勢周平 堂本右美 磯邉一郎 中川一政 梅津庸一 中野浩二 パープルーム予備校、中村一美 坂本夏子& 長與善郎 梅津庸-梅原龍三郎 奈良美智 岡崎乾二郎 バーナード・リーチ 落合多武 原田健司 彦坂尚嘉 ob風間サチコ 藤原裕策 加藤泉 舟越桂 河野通勢 町田久美 岸田劉生 松井えり菜 清川あさみ 水戸部七絵 草間彌生 武者小路実篤 小出ナオキ 村上降 興梠優護 森村泰昌 児島喜久雄 森山大道 小西紀行 安田靫彦 小林正人 山口はるみ 小林孝豆 山田正亮 合田佐和子 横尾忠則 近藤亜樹 李禹煥 齊藤彩 若山為三 佐藤姿子 脇田玲 佐藤允 里見弴

菅井汲 杉本健吉 鈴木金平

塩田千春

志賀直哉

ジャン・コクトー

ジョルジュ・ルオー

顔と抽象――スペクトラムとしての絵画

顔と抽象はスペクトラムを成している。

こういうと分りにくいかもしれないが、顔、特に 自画像は自意識の強度が最も強いもの、抽 象画は自意識を消しさろうとする試みとすれ ば、自意識の強さをスペクトラム(連続体)とし て並べてみたら、この時代の絵画の歴史を 切り取ることができるのではないか。

要するにこういうことだ。

デカルトが「われ思う、ゆえに我有り」と身心 の二元論を唱えて以来、私たちは自意識と いう病に取り付かれている。そしてその病が 私たちのアートを生み出している。

近代の相克と葛藤。近代の日本の画家達 は伝統的な日本の感性を有しながら、西 欧的技法を習得しなければならなかった。 梅原であり、志賀であり、藤田であり、松本 であり、原田である。皆、自画像に傑作が ある。これは近代の矛盾がなせる強さであ る。矛盾あるところに秀でた表現は生れる。 「我描く、ゆえに我有り」の苦悩が結実して いるのだ。

しかし私たちの現代は違う。近代における自 意識と外部の対立は解体し、むしろ自意識 が失われて行く時代を生きている。自意識 を描く自画像は姿を消し、顔は様々な意匠 をまとう。しかしまとうことで豊かになる表現も ある筈だ。並べられた顔の作品群は近代 の強さと現代の豊かさとの対比ともいえる。 そして自意識が失われてしまえば、そこには、 美意識だけが抽出されることになる。そこで は形や色彩、質感といったそのままが純粋 な形で表出される。抽象画の誕生だ。 してみると絵画とは自意識のスペクトラムを

往復する美の冒険であると言えるのではな いだろうか。堪能して頂ければ幸いである。

高橋コレクション主宰・精神科医 高橋龍太郎



「表面



ジョルジュ・ルオー《聖額》 1939 | 油彩 | 72.2×49 cm ©ADAGP, PARIS & JASPER, TOKYO, 2018

奈良美智《Untitled》 1998 | 紙にアクリル絵具、 色鉛筆 | 29.5×21 cm ©NARA Yoshitomo Courtesy of the Artist

有島生馬《婦人像》 1908 | 油彩、キャンバス 40.4×32.7cm

会田誠《ちび(「ランチボックス・ ペインティング | シリーズ) 》 2016 | 体い焓で至当突器 発泡ウレタン、アクリルガッシュ 24×32.5×8.5 cm ©AIDA Makoto Courtesy of Mizuma Art Gallery | Photo: 宮島径

草間彌生《No.27》 1997 | 油彩、キャンバス 91×73 cm ©YAYOI KUSAMA Arts, Tokyo / Singapore

清川あさみ 《9月15日 Sep.15》2016 昇華転写捺染、糸、写真 29.5 × 29.5 cm © AsamiKiyokawa

中川一政《男の像》 1971 油彩、キャンバス 45.4 × 38 cm

清春芸術村

Kiyoharu Art Colony

ラ・リューシュ 清春白樺美術館 光の美術館 ルオー礼拝堂 茶宝微 梅原龍三郎アトリエ 白樺図書館 清春陶芸工房

開館時間

10:00-17:00 [入館は午後4時30分まで]

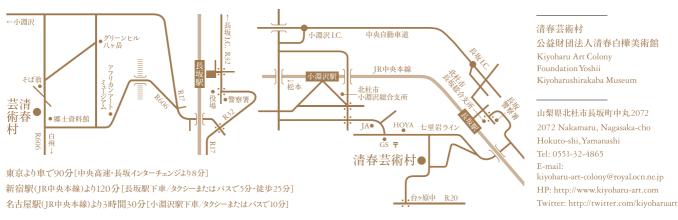
休館日

年末年始 月曜 [但し、祝日の場合は翌平日]

入村料

一般1500円[1400円] 大·高校生1000円[900円] 小·中生無料

- ●□内は20名以上の団体料金です
- •清春白樺美術館、 光の美術館入館料を含む



清春芸術村 公益財団法人清春白樺美術館 Kiyoharu Art Colony Foundation Yoshii Kivoharushirakaba Museum

山梨県北杜市長坂町中丸2072 2072 Nakamaru, Nagasaka-cho Hokuto-shi, Yamanashi Tel: 0551-32-4865 E-mail: kiyoharu-art-colony@royal.ocn.ne.jp HP: http://www.kivoharu-art.com